



写真サークル
ピンボケ会

「雨上がりの朝」

池隅 富雄さん 撮影

カメラ ニコン
レンズ 75～300 mm
シャッター f8 1/250

短歌会

(二月例会)

矢野京子選

庭師来てしげる庭木に剪定す風とほり良し陽のとほり良し
瓶に挿す紅き冬ばらゆるみるし花卉の隙にくさ蜘蛛ねむる
おせちにも飽きたる夕べ採りて来し大根炊けばほとほと旨し
亡き父に似て来しわが子の盃に新年の酒なみなみと注ぐ
五十本百円の赤玉ねぎの苗ひとつ出来たら元は取れるよ

梅野 初子
下原スミエ
林田トシ子
香月 昭子
原 哲子

俳句会

(二月例会)

大庭土筆選

寒牡丹ひそかに寒を尽しけり
賑はひのなごりも少し残り福
手書きとは殊に嬉しく賀状読む
一筆に友の今知る賀状かなと
氏神の遣ひ戸恵く訪ひ呉れし

森本 妙子
花田ムツ子
橋口 久子
原口 孝子
小林 優子

報告 「土師生活環境を守る会」の活動は順調



「土師生活環境を守る会」は、地域に居住する農家・非農家等多様な住民の共同活動により、

薄れつつある地域内連帯感を取り戻し、住み良い、生活しやすい環境を築き、後世に引き継ぐため、「農地・水・環境保全向上対策事業」に取り組んでいます。

事業は、対象地域を設定し、関係する全ての住民の賛同のもと、共同活動により、順調に進んでいます。

共同活動は、農業者の生産基盤の環境を整備する「機能向上班」と住民の生活環境を守る「環境向上誘導班」に分かれ、両班が連携を取りながら、月1回の割合で活動しています。事業期間は、五年間の長丁場です。参加住民と話し合いを重ね、一步一步着実な前進が期待されます。



催し 古新聞や空き缶がお餅や赤飯に変身



うっすら雪が積もった2月3日、平山2区では子ども会など60人が参加した餅つきが行われました。この餅つきで使われたもち米は、桂川町のリサイクル活動団体奨励金などで集めたお金で買ったものです。また赤飯は、平山2区内の75歳以上の高齢者宅に配布されました。

編集＊後記

▶ 2月9日から飯塚市で「筑前いづか雛のまつり」が開催されている。飯塚商店街をぶらり散策しながら眼に映る「お雛様」や「さげもん」などの美しさは、目の保養にピッタリ。
▶ 飾られている作品の製作者の中に、数人ほど桂川町の方の名前を見つけ、思わずそれらの作品に見入ってしまった。
▶ ちなみに「さげもん」に付けられた飾りの数は51個。それは昔の人の平均寿命が50歳だったため、それより少しでも長く生きて欲しいとの願いから51個付けられているそうです。